

## やまぐち未来維新プラン最終案について

- これまでの県議会でのご議論や、山口県活力創出推進会議やパブリック・コメントなどでいただいたご意見、国の動き、山口らしさの観点等を踏まえて重点施策の充実、表現の見直し
- 成果指標について、各プロジェクトの施策の成果を測るものとして適当かどうかを踏まえて再度検討し、一部指標を見直し
- 県民の皆様に分かりやすいプランとなるよう、写真やスキーム図を入れる等工夫



### 今後の具体的な施策の推進に反映

#### ■ 今後のスケジュール

- ① 11月定例県議会（各常任委員会）  
・プラン（最終案）の提示
- ② 年内の決定・公表（予定）

## ■ やまぐち未来維新プラン素案に対していただいた意見

### ○山口県活力創出推進会議での意見

#### 概 要

- ・体験学習、アクティブラーニングの推進が必要。
- ・若者に聞くと山口県に魅力が無いというが、実際はそうではない。県の素晴らしさを全国にPRすることが必要。
- ・ウクライナ侵攻等に起因した物価高騰を踏まえると食糧自給率を高めることが必要。
- ・社会全体で地域と連携した教育を進めていくことが必要。
- ・教員に対する発達障害児への理解を深める研修等の充実を図ってほしい。
- ・移住に向けては、住む場所と仕事をトータルで支援していくことが必要。
- ・新しい形で移住を受け入れる体制づくりなど、空き家対策の充実が必要。
- ・シニアもターゲットにするなど様々な人口減少対策を進めることが重要。
- ・地域活動等に公務員が一層出やすくなる仕組みを作ってはどうか。
- ・今後、県内大学が連携して文系DXの身についた学生を育てていくが、企業と繋ぐ仕組みづくりが重要。
- ・Y-BASEの効果を一層発揮するため、相談機能等を県内各地へ展開してはどうか。
- ・事業承継や事業再生への支援が重要。
- ・安心して生活するには、金融リテラシーの向上も必要。
- ・県の取組をしっかりと県民へ伝えるためのPRが重要。
- ・人と人との繋がりを大切にしながら持続可能な地域づくりを推進していくことが必要。全ての市町において、こどもや子育て世代に対するきめ細かな対応を一層進めてほしい。
- ・プランを実行するにあたっては、県内大学の力を活用した知識やノウハウの地産地消につながる仕組みを作るといいのではないかな。
- ・人口減少対策として、社会変革も見据えた、さらなる企業誘致の推進が必要。
- ・人口減少の中で、小さい自治体が地方創生を進めるにあたっては、DXの推進が重要であり、財政や人材確保等での支援が必要。

## ○パブリック・コメントでの県民意見

### 【意見の募集結果】

- ① 募集期間 令和4年10月11日(火)～11月10日(木)
- ② 意見提出数50件(10人)
- ③ 主な提出意見の内容

概 要
<ul style="list-style-type: none"><li>・文字とページが多い。多くの方々に読まれる工夫が必要。</li><li>・カーボンニュートラルに向けてどのような挑戦をするか具体的な記載をしてほしい。</li><li>・市民の力を借りて、SNS等を活用した観光振興を推進してほしい。</li><li>・県内で様々なアウトドアスポーツができるよう取り組んでほしい。</li><li>・豊かな自然を活かしてキャンプなどのアウトドアの推進に取り組んでほしい。</li><li>・空き家はまちおこしの潜在能力を持っている。</li></ul>

## ○市町の意見

概 要
<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少は、県、市町に共通する最大の課題。県と市町が連携して取組を進めていきたい。</li><li>・「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」の4つ視点は欠かすことのできない視点であり、各市町の取組を支援いただきたい。</li><li>・子育て支援の充実が企業誘致にもつながる。トータルで考えていかなければならない。</li><li>・施策を進めるにあたり、県の職員と市の職員が協働することが重要。</li><li>・地方ローカル線の維持・活性化の取組が必要。</li></ul>